



報告書

阪技術研(森)報第 0556 号

申込者	企業名 又は氏名	株式会社クレディ 様
	所在地 又は住所	大阪市中央区博労町1-9-8 堺筋MS第2ビル
依頼事項	X線回折測定	
提出試料 (名称、点数)	モミ殻シリカ生成灰180622、1点	
平成 30 年 6 月 25 日付 第 300343 号で申込みのあった件について 次のとおり報告します。 発行日 平成 30 年 7 月 3 日 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所理事長		
(注意事項) ・ 申込書に記載された企業名、所在地、提出試料名等を記載しています。 ・ 申込者から提出された試料、試薬、消耗品その他の名称は、申込者の申し出によるものです。 ・ 申込者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、必ず事前に本研究所の承認を受けてください。 ・ 本研究所の書面による承認なしにこの報告書の一部分のみを複製して用いることを禁じます。		



1. 提出試料

モミ殻アモルファスシリカ研修、1点（名称は依頼者の申し出による）

2. 方法

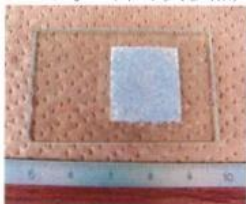
【装置】粉末X線回折装置（SmartLab、RIGAKU製）

【X線】CuK α （40 kV、40 mA）

【測定モード】・スキャン軸= θ - 2θ 、・ステップ幅=0.01 $^\circ$ 、・スキャン範囲=5 $^\circ$ ~100 $^\circ$

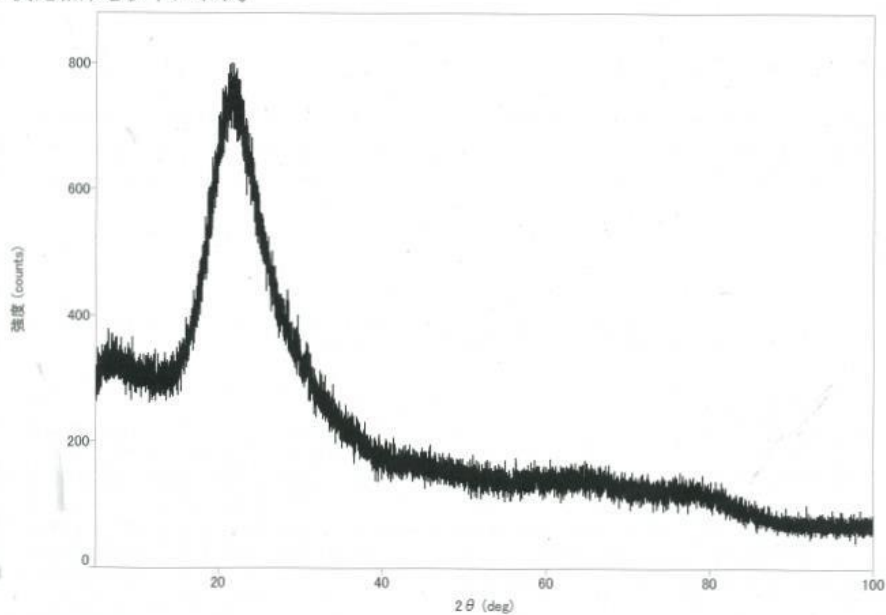
【スリット】・入射/受光平行スリット=SolarSlit5.0 $^\circ$ 、・入射スリット=2/3 $^\circ$ 、
・長手制限スリット=10.0 mm、・受光スリット1/2=20.0 mm

【測定試料】提出試料粉末を専用ガラス板の凹部に充填し、スライドガラスで表面を平滑にした。（下写真参照）



3. 結果

・測定結果を以下に示す。



・ 2θ = 約22 $^\circ$ 付近にアモルファス成分に由来するブロードなハローパターンが観測された。

—以上—